



赤羽だより

平成29年9月1日(金)

9月号

港区立赤羽小学校

愛されること、褒められること、役に立つこと、人に必要とされること

校長 宮崎 直人

9月に入り、学校には、子供たちのにぎやかな声が戻ってきました。夏休みを経て一回り大きく、たくましくなった姿から、充実した日々を送ることができたのではないかと思います。

夏季休業中には、学校が関係する様々な行事等がありました。

水泳教室では、それぞれの級に応じて練習を頑張る姿が見られました。進級テストに合格することができた子も大勢いました。夏季課外学習では、集中して学習する姿が見られました。どの学年も、都立三田高等学校の生徒たちが来てくれて、学習のお手伝いをしてくれました。子供たちも、お兄さん、お姉さんに教わることで、より一層学習に集中することができたようです。ご協力をありがとうございました。

7月22日には、「第45回まちぐるみ三田納涼カーニバル」が行われました。本校からは、「赤羽小学校 鼓笛隊」として、6年生がとても暑い中を、赤羽橋から三田二丁目交差点までの約30分間、演奏しながらパレードしました。沿道から、地域・保護者の皆様や在校生・卒業生から大きな声援を送っていただいたことが、子供たちにとって、とても励みになったようです。ご声援をありがとうございました。

7月25日には、「こども平和まつり」が行われました。本校からは、4年生が参加しました。代表児童による「こども平和宣言」は、堂々とした力強いスピーチで、とても素晴らしかったです。また、話を聞く態度もとてもよかったですので、事務局の方からお褒めの言葉をいただきました。

8月26日から28日まで、5年生と箱根夏季学園に行ってきました。その中で、子供たちのよい姿を数多く見ることができました。様々な活動を思い切り楽しむ姿、時間やルールを守って行動する姿、友達と励まし合い助け合って行動する姿、係活動などを一生懸命に行う姿等々。挨拶や話の聞き方もよかったです。箱根ニコニコ学園のスタッフの方など、お世話になった方々にしっかりとお礼を言うこともできました。「さすが、5年生。高学年としての自覚が育ってきている。」と感じました。集団生活を通して、多くのことを学ぶことができた貴重な3日間でした。

これらの経験を2学期以降の学習や生活に生かして行ってほしいと思います。

さて、私が東京都教育庁に勤めていたときに、多くの方々に講師として来ていただき、お話を聴く機会がありました。その中の一人に、大山 泰弘（おおやま やすひろ）先生がいらっしゃいます。チョークをはじめとした文房具等の製造販売を行う会社の会長で、知的障害のある方の雇用に力を入れていることでも知られています。

大山先生は、禅僧から聴いた「人間の究極の幸せは、愛されること、褒められること、役に立つこと、人に必要とされることです。」という言葉を引きかけに、会社の在り方を見直し、社員が働く喜びを感じることができるように様々な改善を行ったそうです。

このことは、学校や家庭においてもとても大切なことではないかと思います。私たちが、子供たちを愛すること、褒めることによって、子供たち自身が「自分は役に立っている。必要とされている。」と感ずることが子供たちの成長のために重要であると考えています。

学校では、2学期も、子供たちが健やかに成長することができるよう、様々な教育活動を通じて褒め、励ましていきたいと思っています。保護者・地域の皆様のより一層のご支援・ご協力をよろしく願いいたします。

オリンピック・パラリンピック教育

9月には、オリンピック・パラリンピック教育に関連して、20日（水）に、公益財団法人 鉄道弘済会義肢装具サポートセンター（義手や義足など、義肢装具の製作から装着訓練に至るまでの一貫したサービスを提供する、民間では日本唯一の総合的なリハビリテーション施設）の方が来校され、3年生以上の児童に講演などをしていただく予定です。

また、29日（金）に、7月にロンドンで行われた「世界パラ陸上」に出場した、村上 清加（むらかみ さやか）選手が来校され、全校児童に講演などをしていただく予定です。

このような機会を通して、障害者スポーツやパラリンピック等に興味・関心をもってほしいと思っています。

防災の日・防災週間について

9月1日は、「防災の日」、8月30日から9月5日までは、「防災週間」です。

我が国は、その位置、地形、地質、気象等の自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、地滑り、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土となっています。

昨年度は、平成28年熊本地震、8月の台風第10号、10月の鳥取県中部の地震、12月の糸魚川大規模火災等により全国各地で様々な被害が発生しました。また、本年度に入ってから7月の九州北部豪雨の災害が発生しています。

こうした我が国の国土の特徴に鑑み、政府、地方公共団体等防災関係諸機関を始め、広く国民が、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害についての認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより、災害の未然防止と被害の軽減に資するよう、「防災の日」及び「防災週間」を設けることとされています。

本校では、「防災週間」に先駆けて、7月15日（土）に、「防災子ども大会」を行いました。PTAの成人教育部を中心に、保護者の皆様のご協力のもと、芝地区総合支所 協働推進課、芝消防署、消防団の方々に来ていただき、炊き出し訓練デモンストラーション、防災のお話、水消火器の説明、放水訓練などを実施していただきました。PTAの皆様には、子供たちが楽しめるお店も出していただきました。子供たちにとっては、楽しみながら防災について学習するとてもよい機会になったと思います。ご協力いただいた関係諸機関の方々に心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

防災は、普段からの備えや訓練がとても重要です。これからも、東京都が作成・配布している「東京防災」や東京都教育委員会が作成した「防災ノート」を活用し、子供たちの防災に対する意識を高めていきます。

また、10月21日（土）には、合同防災訓練を予定しています。ご協力をよろしくお願いいたします。

体罰根絶に向けての取組

教員が、児童・生徒に対して、戒めるべき言動を再び繰り返させないという、教育目的に基づく行為や制裁を行うことを懲戒といいます。懲戒には、事実行為としての注意、警告、叱責、説諭、訓戒や、法的効果をもたらす訓告や停学等の処分があります。

懲戒のうち、教員が、児童・生徒の身体に、直接的又は間接的に、肉体的苦痛を与える行為を体罰といいます。

体罰は、学校教育法に違反するのみならず、児童・生徒の心身に深刻な悪影響を与え、力による解決の志向を助長し、いじめや暴力行為などの土壌を生む恐れがあり、いかなる場合でも決して許されるものではありません。

体罰を「しない」「させない」「許さない」ことが重要です。そこで、学校では、体罰根絶のために、研修を毎年行い、「体罰根絶宣言」を作成しています。

本校では、7月に研修を行い、体罰根絶宣言を考えました。

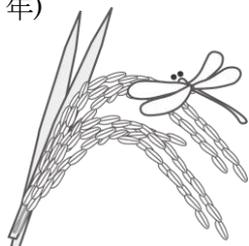
今年度、本校の「体罰根絶宣言」は、以下の3点になりました。

- 体×0＝みんなの笑顔（体罰ゼロは、みんなの笑顔）
- チーム赤羽 みんなでつくろう 子供の笑顔
- どんな行動にも背景あり 心に寄り添う人になる

体罰は、児童の心と体に深い傷を残します。私たちは、心に響く言葉で伝え、子供たちを成長させるよう全力を尽くしてまいります。

9月の行事予定

- 1日(金) 始業式 大掃除 給食始(4時間授業)
2日(土) 4時間授業
4日(月) 委員会活動 計測(6年・ひまわり)
5日(火) 赤羽幼稚園との交流(5年)
保護者会(3・4年・ひまわり)
計測(2年1・2組)
6日(水) 安全指導 計測(4・5年)
区水泳記録会(6年)
7日(木) 避難訓練 計測(3年)
保護者会(5・6年)
8日(金) 水泳指導終 計測(2年3組)
保護者会(1・2年)
11日(月) プール納め 計測(1年) クラブ活動
12日(火) 色覚検査(4年希望者のみ)
13日(水) 委員会発表
研究授業(1年1組・4年1組のみ
5時間授業)
15日(金) 稲刈り体験(5年)
18日(月) 敬老の日
19日(火) 歯科検診(1・4年・ひまわり)
前日検診(ひまわり)
20日(水) 特別支援学級合同移動教室始
ユニセフ集会
義肢装具サポートセンターの方
のお話(3・4・5・6年)
21日(木) ユニセフ募金始
歯科検診(2・3年)
22日(金) 特別支援学級合同移動教室終
23日(土) 秋分の日
25日(月) 縦割り班遊び
26日(火) どんぐり拾い(1・2年・ひまわり)
ユニセフ募金終
歯科検診(5・6年)
27日(水) オーストラリア報告会
29日(金) 村上清加さん(義足のアスリート)の
お話(全学年)
30日(土) 学年行事(3・4年)
町探検(2年)



9月の下校時刻

1日(金)	全学年	13:20頃
5日(火)	1~4年	14:35頃
7日(木)	1・2・5・6年	14:35頃
13日(水)	全学年	13:15頃
	(1年1組・4年1組)	14:30頃

※上記以外は通常通りです。

ひまわり学級は学級だよりをご覧ください。

9月の生活目標

「時刻・時間を守って生活しよう」

生活指導部

例年になく雨の多かった夏休みでしたが、今年も赤羽小の子供たちは、大きなけがや病気も無く元気に過ごすことができたようで一安心しています。

さて、2学期のスタートは大変重要です。夏の暑さの疲れも出ますし、生活リズムを学校生活のリズムに戻さなくてはなりません。しかし朝起きられなかったり、だるさを訴えたりする子がいます。このような子供の心は、少しのことでも不安になり、「友達と仲良くできなかったらどうしよう」「勉強が分からなかったらどうしよう」等マイナス思考に陥りがちです。

東京都教育委員会からの報告でも、8月末から9月上旬にかけて18歳以下の自殺者が増加しているとあります。そのようなことが起こらないよう教職員一同、一人一人の子供たちを丁寧に見守ってまいりたいと思っています。9月はじめの過ごし方は2学期の生活に大きく影響します。

そこで、子供たちに「時刻や時間を守る」ということを意識させご家庭の協力も得ながら生活のリズムを早く整わせさせたいと思います。特に、起床と就寝時刻についてはご家庭のご協力をお願いします。

算数少人数について

算数担当

赤羽小学校では、2年生から6年生まで習熟度に合わせた学級を編成し、学習を進めています。「トライコース」では、問題のヒントは少なめにし自力解決の時間を多くとります。「マスターコース」では、問題を解決するためのヒントを一緒に確認し自力解決に入ります。「クリアコース」では、コースの全員と一緒に考えながら学習を進めます。コースの子供たちの実態に合わせて解決のヒントを調整しながら、一人一人が無理なく学習に取り組めるようにしていきます。ご理解、ご協力をよろしく願いいたします。なお、9月(2学期)より、算数少人数だよりを発行しますのでご覧ください。

箱根夏季学園の思い出 5年担任

8月26日から28日の3日間、5年生は箱根夏季学園名へ行って参りました。5年生の学年目標として「協力」することを心掛けた3日間になるように出発式で話をしてお掛けました。

1日目 夏休み最後の土曜日ということもあり、交通渋滞にあいましたが、鳴沢氷穴の涼しさには子供たちも感動を露わにしていました。時間の都合で富岳風穴には行くことができず残念でした。昼食はお魚公園で食べました。お家の方々が作って下さったお弁当をみんな残さず完食でした。昼食後は、グループごとに水族館を見学しました。カメラ担当の児童がグループや魚の写真を撮り、楽しく見学できました。学園到着が遅れたため、開園式も予定より30分程遅くなりましたが、赤羽小学校の5年生として挨拶や整列の仕方、姿勢などてきぱきとした行動で時間短縮にも貢献できました。また、大変立派な態度で臨むことができ、校長先生にも褒められました。夕食後は、レク係主催の新聞紙e c oレクリエーションで盛り上がりました。人数調整にはレク係が率先して加わったり、グループでいかに早くゴールするか作戦を立てたりと協力する姿が伺えました。就寝は、友達と一緒に寝るのが嬉しくてなかなか寝付けなかったようでしたがしばらくすると静かに寝ていました。

2日目 6時起床の前に起きて朝の準備をしている子が多く、驚きました。大きな声を出したり、騒いだりすることもなく自分の準備をし、遅れ気味の友達の手伝いをする姿も伺えました。朝会にも遅れる班なく集合でき、褒められました。山登りでは、全員が登り切れるか不安がありましたが、みんながペースを合わせて登ったため、一人も遅れることなく、登りきることができ、達成感を味わえました。日中の日照りが強かったため、コースを変更して来た道を下りましたが、今どの辺りにいるのかの見当がついていたため、休憩を1度入れただけでスイスイと降りてくることができました。箱根の山はとても涼しく、吹く風の気持ちよさを味わえる登山でした。昼食後、湖尻から遊覧船に乗り、箱根関所跡まで30分の船旅を楽しみました。山の中とはまた違った湖上の風が疲れた体を優しく包んでくれているようでした。ほぼ貸切状態で、子供たちは1階から4階まで全ての階を動き回っていました。関所跡では、家で待っている家族へ何をお土産にしようかと時間いっぱいまで考えている姿が微笑ましかったです。夜は、雨も心配されましたが、空が味方し、キャンプファイヤーをすることができました。火の神から友情、勇気、自由、協力の火を受け渡され神聖な儀式を静かに見守りました。その後テーマソングを歌ったりランナーを踊ったりして盛り上がりました。燃え尽きる前の1つの炎を全員で見つめる時間もあり、思い出に残る一時となりました。

3日目 前日の疲れが残っていたのか、6時の起床でまだ寝ている子も見られましたが、男子の多くは前日同様にきびきびとした動きが印象的でした。朝会時に学年写真を撮影するために身に付けるはずの赤羽バンダナが一人で捜しても見つからず、班のみんなと一緒に探すことで見付けられたのも協力の証ということを経験できました。閉園式までに布団たたみや部屋の掃除を済ませ、定刻に出発できたのも協力があってこそその成果でした。学園で一緒に過ごした赤坂小学校の友達とも、大きな声で挨拶ができ、1日目より逞しさを感じることができました。学園を後にするのは何となく寂しさを感じますニコニコ学園の館長さんに「皆さんと、また来年会えることを楽しみにしています」と言われ、寂しさが楽しみに変わった子も多かったようです。3日目のメインは、愛川レインボーブラザでの藍染体験です。基本の絞りが8パターンある中で自分の好きな型を選び、オリジナル作品を仕上げていました。また、おまけの組み紐作りは、好きな配色の紐を30cm作らせていただき、腕や足に巻き付けたり、帽子に括り付けたりして記念になるお土産となりました。

短い時間の中で、協力の大切さを学ぶ貴重な体験ができた3日間でした。